

contents

- ・病院長 新年のご挨拶
- ・副院長・患者支援センター長 新年のご挨拶
- ・年末年始の診療記録
- ・診療科紹介
- ・専門外来紹介
- ・各種講演会のお知らせ
- ・院内コンサートのお知らせ



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel. 0422-47-5511（代表）
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

■新年のご挨拶

病院長 岩下 光利



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。皆様もご存じのとおり、診療報酬のマイナス改定や消費税率の引き上げなど、昨今は医療界にとって暗いニュースが多く、医療を取り巻く環境は厳しさを増しております。このような状況ではありますが、多摩地区の拠点病院である当院では、良質な医療を提供するため最新の医療機器導入や施設の整備に努めてまいりました。当院がさらに地域の拠点病院としての役割を果たしていくためには、地域の先生方との連携を強化することが最も重要な課題と考え、また、当院のような高度急性期病院が地域包括ケアシステムと密に連動し一体化することで、初めて地域住民の健康を守れる体制作りができると考えております。先生方と一緒に、地域の医療に貢献していく所存ですので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとって本年も幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



副院長・患者支援センター長 塩川 芳昭



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。私ども杏林大学病院とさまざまな形で診療連携をお願いしております皆様に、あらためて日頃のあたたかいご支援に感謝申し上げます。

当院では2014年7月より従来の地域医療連携室（地域医療連携係、医療福祉相談係）と入退院管理室、病床管理部を統合して患者支援センターを発足させました。患者さんの流れに沿って、医師・看護師、ソーシャルワーカー、事務職員が一体となって先生方や患者さんの多様なニーズに迅速かつ的確にお応えできるよう意図したもので、まだまだ至らない点も多々ありますが、この医療をめぐる厳しい社会情勢の中でより良い診療をご提供できるように努めております。皆様方からはfaxによる詳細な診療情報をご提供いただいておりますが、外来予約体制の円滑化、登録医制度の充実、

患者さんの紹介・逆紹介のさらなる連携など、本年も引き続き取り組んでまいりますので、ぜひ皆様方からご意見など伺えれば幸いです。

今後は地域の病院・診療所との緊密な連携がますます必要となってまいります。この「杏林大学病院ニュース」の表題右に記されている「地域医療の充実をめざして、関係機関の皆さまとともに」が少しずつ実を結ぶように、新しい年を迎えるに当たり決意も新たに組みたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

— 年末年始の診療記録 —

昨年12月28日夕方から1月4日朝までの年末年始期間中に急病等で来院した患者さんは1,518人でした。



2015年12月28日夕方～ 2016年1月4日朝まで		
患者数（人）		1,518
救急車 台数	1・2次	142
	3次	24
3次救急患者数（人）		31

診療科名	ATT	内科系	外科系	精神神経科
患者数	430	124	36	2
診療科名	小児科	小児外科	脳神経外科	心臓血管外科
患者数	241	10	49	3
診療科名	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科
患者数	126	122	80	55
診療科名	眼科	耳鼻咽喉科	産科婦人科	SCU
患者数	102	97	21	20

◆ 消化器内科

診療科紹介

◆ 脳卒中科

消化器内科専門医を中心に、上部・下部消化管疾患、および肝胆膵疾患の専門的診療を行っています。

昨年6月、「炎症性腸疾患専門外来」（木・土）を開設し、近年患者が増加しつつあるクローン病や潰瘍性大腸炎といった難治性腸疾患の診断、治療を専門に行っています。また、通常の内視鏡検査や画像検査では精密検査や診断が困難であった小腸の検査を行う「小腸検査専門外来」（火）では、ダブルバルーン小腸内視鏡検査やカプセル内視鏡検査を施行しています。

このような専門外来を設けることで、地域の先生方からご紹介いただいた患者さんが専門的な検査や診療を迅速に受けられる体制を整えています。今後も地域医療連携の充実を図ってまいります。

昨年10月には、消化器内科独自のホームページ(<http://kyorin-gastro.com>)も開設しました。受診される皆様、医療関係者や学生の方々へ、当科の診療内容、スタッフ紹介、教育方針などをお伝えしています。是非一度アクセスいただければ幸いです。

多摩地区における包括的脳卒中センターとして、24時間体制で脳卒中の救急診療にあたっています。

疾患としては、くも膜下出血を除く脳卒中全般に対応し、エビデンスに基づいた最新治療を提供しています。近年、増加している心原性脳塞栓症には、発症4.5時間以内のrt-PA静注射療法や、機械的血栓除去カテーテルを用いた脳血管内治療を積極的に行っています。また、ICTを活用した遠隔画像支援も試験運用中です。

病棟には、脳卒中ケアユニット（SCU）9床を備え、脳卒中専門医・看護師の管理下に集学的治療を実施、さらに専属リハビリスタッフが急性期リハビリを行い、早期の機能回復と社会復帰を目指しています。

外来は、月～金曜日に脳卒中専門医1名以上で対応しています。年間600件を超える救急要請に応じるため、病状安定後は地域の先生方に患者さんの継続治療をお願いする方針です。

特殊外来としては、「頸動脈外来（頸動脈狭窄症）」を金曜日に開設しています。

専門外来紹介

◆ 骨粗鬆症専門外来 （整形外科）

骨粗鬆症は骨が脆弱になり骨折をおこしやすくなる病態で、骨折をおこし、疼痛が出現するまで気づかれないことが多い疾患です。しかし、一度骨折すると連鎖的に骨折を起こすリスクが高くなるため、一度目の骨折を予防することが重要であると考えられています。そのような考えの中で骨粗鬆症の治療薬は近年目覚ましい進歩を続けており、新薬が続々と登場しています。しかし、選択肢が広がる一方、適切な薬の選択が重要となります。

当院では第2金曜日に市村教授、第3金曜日に長谷川助教によって骨粗鬆症専門外来を開いています。骨代謝専門の医師が骨の代謝を考慮した薬剤の選択を行うことで治療効果をより高めることが期待できます。また、女性の閉経後の骨粗鬆症のみでなく、診断・治療が困難な症例なども専門外来にて診ています。お困りの症例がございましたらご紹介ください。

「退院支援リンクナース研修」公開講演会



在宅看護にむけて、
急性期病院の看護師に求める役割

急性期病院からの退院（在宅・転院）支援などの重要性やこれからの医療機能の分化、地域ぐるみでケアを提供していくための仕組み作り等について講演

講師：星 恵理子 氏

恵泉クリニック機能強化型在宅療養診療所看護師長

日時：2月3日（水）14時～15時30分

場所：当院外来棟10階 第一会議室

* 事前申込制、詳細は当院HPをご覧ください。



NST（栄養サポートチーム）講演会

在宅と栄養

入院患者の栄養についての知識を深め、よりよいケアを提供していくために講演会を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

講師：医療法人社団悠翔会

理事長・診療部長 佐々木 淳先生

日時：2月18日（木）18時30分～19時30分

場所：当院第2病棟4階 大学院講堂

※入場無料・申込不要

問い合わせ：杏林大学医学部付属病院 NST委員会
（代表）0422（47）5511（内線）2492



三鷹市老人クラブ連合会との共催講演会

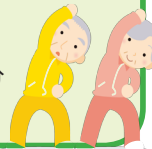
高齢者に多い足腰の痛み・健康法について

当院では、三鷹市老人クラブ連合会と共に定期的に講演会を行っています。16回目となる今回は、膝、腰、股関節などの痛みの予防法、対処法について、予防体操も交えて講演

講師：整形外科 市村正一教授

日時：2月24日（水）14時30分～15時30分

場所：三鷹市公会堂さんさん館



院内コンサート予定

桐朋学園のご厚意により定期的に院内コンサートを開催しています。

日程：4月9日（土）、7月9日（土）、10月15日（土）、12月10日（土）

場所：外来棟1階ロビー

※入場無料・申込不要

